

京都大学文学部卒業生アンケート集計結果

平成 31 年 3 月実施

京都大学文学部・文学研究科では、卒業時・終了時にアンケートを実施し、教育研究活動の自己点検・評価に役立てるとともに、その集計結果を公開しています。平成 30 年度卒業生の皆さん、ご協力ありがとうございました。

【結果の概評】

今年度は卒業生 221 名に対して、190 名より回答を得ることができ、回答率は 86%に達した。

回答結果の傾向は例年と変わらない。Q.03「あなたは文学部で学んだことに満足していますか？」では、約 80%の方が「充分」または「それなり」に満足していると回答しており、文学部の教育に対する満足度の高さがうかがわれる。また、Q.02の「京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、自学自習の能力が養われるような形で行われていると思いますか？」について、昨年度と同様、約 70%の方が自学自習の能力が「充分」または「ある程度」養われるような形で行われていると回答しており、本学部の特徴であり続けている。

Q.05「文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものはありますか？」(複数回答可)では、「一般的な教養」とならんで「自分で問題を発見し、解決を図る能力」がもっとも高く、これも文学部の教育の特長が反映されていると思われる。また、「専門的知識」も高い選択率を示している。一方で、「国際感覚」や「外国語の能力」を選んだ方が少ない点は、両者ともに大学院修了生のアンケートではかなり高い選択率であることも考慮すると、学部教育になお工夫の余地があるかもしれない。

文学部のディプロマ・ポリシーの達成状況については(Q.07~10)、質問項目によって多少の差はあるが、ほぼ 60%前後の方が「達成できた」または「ある程度達成できた」と答えている。一方、全学共通科目については(Q.11~15)、「専門以外の幅広い知識・教養」(Q.11)と「専門分野で基礎となる学力」(Q.12)は 80%を越える方が「大いに」または「ある程度」向上したと答えており、全学共通教育の基本的な役割は十分に果たされていることがわかる。ただ、Q.13「英語の能力(英語以外の言語を第 1 外国語とした方は、その言語の能力)」については、「大いに」または「ある程度」向上したと答えた方が半数にとどまり、英語(または第 1 外国語)教育についてはまだ改善の余地があることを示している。

【自由記述欄】

今回はかなり具体的な改善点の指摘がめだった。2 回生における所属専修を決定する専修ガイダンスの方法や時間割については、検討の余地があるかもしれない。

アンケート名 平成30年度卒業生アンケート

部局 文学部

対象者数 221

回答者数 190

回答率 86

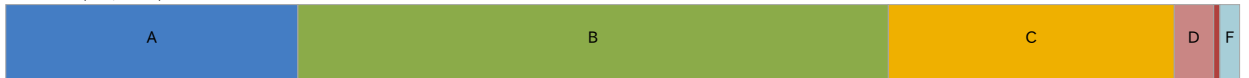
結果 (Q.01) あなたは入学前に京都大学オープンキャンパスに参加しましたか？

- A: はい (83票/43.7%)
- B: いいえ (105票/55.3%)
- C: 無回答 (2票/1.1%)



(Q.02) 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、自学自習の能力が養われるような形で行われていると思いますか？

- A: 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている (45票/23.7%)
- B: 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている (91票/47.9%)
- C: どちらとも言えない (44票/23.2%)
- D: 自学自習の能力が養われるような形で行われていない (6票/3.2%)
- E: その他 (1票/0.5%)
- F: 無回答 (3票/1.6%)



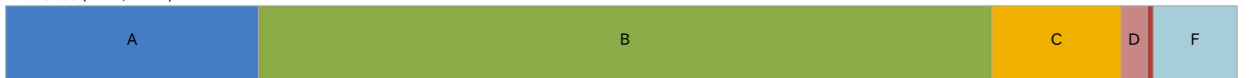
(Q.03) あなたは文学部（特に所属専修）で学んだことに満足していますか？

- A: 十分に満足している (60票/31.6%)
- B: それなりに満足している (95票/50%)
- C: どちらとも言えない (24票/12.6%)
- D: 後悔している (10票/5.3%)
- E: その他 (1票/0.5%)
- F: 無回答 (0票/0%)



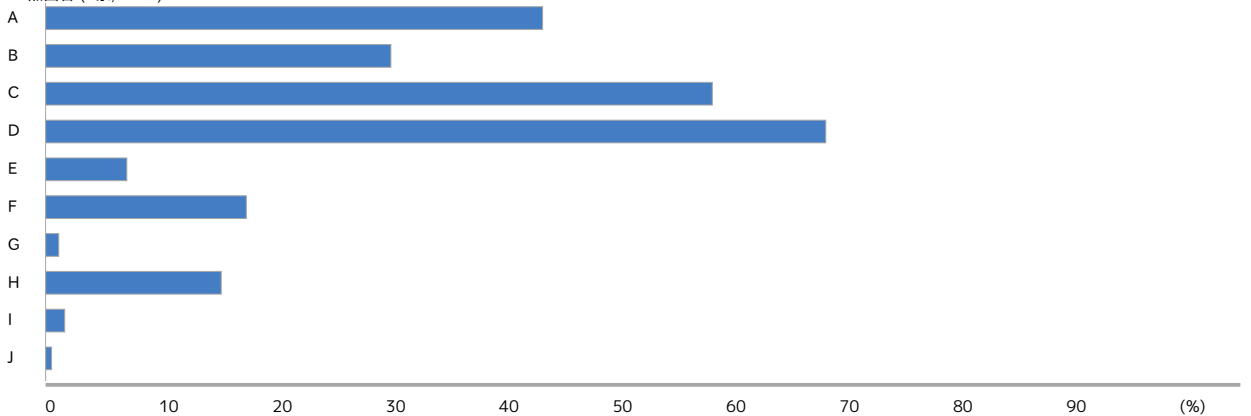
(Q.04) 4月以降の進路についてお聞きします。

- A: 大学院進学（他大学も含む） (39票/20.5%)
- B: 一般企業に就職 (113票/59.5%)
- C: 官庁、地方自治体等に就職 (20票/10.5%)
- D: 教員、司書等の専門職に就職 (4票/2.1%)
- E: その他 (1票/0.5%)
- F: 無回答 (13票/6.8%)



(Q.05) 文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものはありますか？（複数回答可）

- A: 専門的知識 (79票/41.6%)
- B: 専門分野の研究能力 (55票/28.9%)
- C: 自分で問題を発見し、解決を図る能力 (106票/55.8%)
- D: 一般的な教養 (124票/65.3%)
- E: 国際感覚 (13票/6.8%)
- F: 外国語の能力 (32票/16.8%)
- G: リーダーシップ (2票/1.1%)
- H: 社会的常識 (28票/14.7%)
- I: その他 (3票/1.6%)
- J: 無回答 (1票/0.5%)



(Q.06) 差し支えなければ、あなたが所属していた系を教えてください。

- A: 哲学基礎文化学系 (27票/14.2%)
- B: 東洋文化学系 (23票/12.1%)
- C: 西洋文化学系 (17票/8.9%)
- D: 歴史基礎文化学系 (31票/16.3%)
- E: 行動・環境文化学系 (72票/37.9%)
- F: 基礎現代文化学系 (15票/7.9%)
- G: 無回答 (5票/2.6%)



(Q.07) 以下、Q.07からQ.10で、文学部のディプロマポリシーに関してお伺いします。以下の項目についてどの程度達成できたか教えてください。

人文学に関わる基礎的学識を有し、その専門領域としての哲学・歴史学・文学・行動科学について深い理解力を持ち、また学修成果を卒業論文として集大成できる問題探求能力、分析能力、表現能力を身につけている。

- A: 達成できた (21票/11.1%)
- B: ある程度達成できた (98票/51.6%)
- C: どちらとも言えない (29票/15.3%)
- D: あまり達成できなかった (25票/13.2%)
- E: 達成できなかった (13票/6.8%)
- F: 無回答 (4票/2.1%)



(Q.08) 人文学に関わる課題について、問題を発見し解決する力を持ち、創造的に取り組むことができる。

- A: 達成できた (26票/13.7%)
- B: ある程度達成できた (100票/52.6%)
- C: どちらとも言えない (30票/15.8%)
- D: あまり達成できなかった (19票/10%)
- E: 達成できなかった (10票/5.3%)
- F: 無回答 (5票/2.6%)



(Q.09) 人文学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その発展に貢献することができる。

- A: 達成できた (25票/13.2%)
- B: ある程度達成できた (78票/41.1%)
- C: どちらとも言えない (54票/28.4%)
- D: あまり達成できなかった (19票/10%)
- E: 達成できなかった (10票/5.3%)
- F: 無回答 (4票/2.1%)



(Q.10) 自由で批判的な精神と良識を持ち、人類が直面する課題を直視し、問題の解決に積極的に寄与することができる。

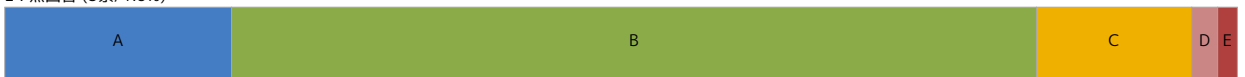
- A: 達成できた (29票/15.3%)
- B: ある程度達成できた (74票/38.9%)
- C: どちらとも言えない (55票/28.9%)
- D: あまり達成できなかった (16票/8.4%)
- E: 達成できなかった (11票/5.8%)
- F: 無回答 (5票/2.6%)



(Q.11) 以下、Q.11からQ.15で、全学共通科目の学習に関してお伺いします。入学当初と比べ、以下の項目はどの程度向上した又は得られたと思いますか。(一つ選択。無回答も許可する。)

専門以外の幅広い知識・教養

- A: 大いに向上した (35票/18.4%)
- B: ある程度向上した (124票/65.3%)
- C: あまり向上しなかった (24票/12.6%)
- D: 全く向上しなかった (4票/2.1%)
- E: 無回答 (3票/1.6%)



- (Q.12) 専門分野で基礎となる学力
 A: 大いに向上した (45票/23.7%)
 B: ある程度向上した (114票/60%)
 C: あまり向上しなかった (21票/11.1%)
 D: 全く向上しなかった (7票/3.7%)
 E: 無回答 (3票/1.6%)



- (Q.13) 英語の能力 (英語以外の言語を第1外国語とした方は、その言語の能力)
 A: 大いに向上した (15票/7.9%)
 B: ある程度向上した (80票/42.1%)
 C: あまり向上しなかった (71票/37.4%)
 D: 全く向上しなかった (20票/10.5%)
 E: 無回答 (4票/2.1%)



- (Q.14) 初修外国語の能力
 A: 大いに向上した (28票/14.7%)
 B: ある程度向上した (90票/47.4%)
 C: あまり向上しなかった (49票/25.8%)
 D: 全く向上しなかった (19票/10%)
 E: 初修外国語は修得しなかった (1票/0.5%)
 F: 無回答 (3票/1.6%)



- (Q.15) 将来の研究分野や進路を決める手がかり
 A: 大いに得られた (26票/13.7%)
 B: ある程度得られた (85票/44.7%)
 C: あまり得られなかった (60票/31.6%)
 D: 全く得られなかった (17票/8.9%)
 E: 無回答 (2票/1.1%)



- (Q.16) その他意見・要望等がありましたら、ご自由にお書きください。
 ●回答無し